

みつくら

平成30年 6月15日 第268号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

9区に福島さん一家が新たに加わる

9区3班にある元菅原正治さん宅に、福島さん一家が4月に入居された。ご主人の名前は、福島吉隆(よしたか)さん 奥さんは詠子(えいこ)さんそして、2歳の詩太(うた)くんの3人家族。福島さんは、和歌山県で1年半ほど就農研修を行い、詩太くんが生まれたのを機に詠子さんの実家がある盛岡市に移り、紫波町と大迫町に土地を借り、現在は主に有機農法で作った野菜を盛岡市内で販売している。福島さんは、県内に移住を決意して住居を探していたところ、「花巻市空き家バンク」に登録されていた菅原さんの住居を見つけ、田畑も目の前にあり、手入れされた住居(菅原さんがまめに来て維持していた)を気に入り、住むこととなった。今後は、紫波町の借地契約も切れるのでこの場所で米や野菜を作る予定にしている。先日、地区の「さなぶり」で紹介があり、これからは若手農家として、9区の方々と触れ合い、この地が第2のふる里になることを期待している。

葛丸の農村環境を守る会が総会

葛丸の農村環境を守る会(正規名称農地・水環境保全組織 葛丸の農村環境を守る会広域協定運営委員会、板垣幸夫会長、構成員240名)の平成30年度総会は、去る5月10日に大瀬川振興センターで22名が出席して開かれた。

板垣会長は「平成29年度は、ほぼ計画通り事業を推進する事ができました。これも偏に構成員の皆様方及び運営委員の方々のご協力賜と感謝しております」と挨拶された。議長席には規約により会長が着席し、前年度の事業報告と決算が承認され、今年度の事業計画と予算が決められた。平成29年度の事業報告では、25項目の事業に延べ2613名の構成員が出役や参加され、特に「啓発活動が少ない」と指摘を受けたのに伴って会報の発行を再開したり、環境標語柱を設置した事などが報告された。

また新年度の事業計画では、草刈りや泥上げなど基礎活動に1100万円、U字溝設置に1399万円、水路やパイプ

ラインの修理や環境保全に878万円など総額3377万円で行う事を決めた。しかしその後の市の説明会で、平成30年度は、農業基盤整備事業の対象区域は、測量の承諾書を取りまとめる予定であることから、対象区域のU字溝敷設は行えないと通知があった。

ただ今 消防ポンプ操法訓練中!

一昨年までは毎年行っていた消防ポンプ操法競技会が全国大会開催時の2年ごとに変更になって、今年が競技会開催年となり、当地区13分団第1部(自動車ポンプ)と第2部(可搬ポンプ)が6月17日の石鳥谷大会に向けて4月下旬から練習を行っている。石鳥谷大会での1位と2位は花巻大会に出場し、ここで優勝すれば、7月にある県大会出場そして、9月には全国大会となっている。

今回は、第1部の指揮者に板垣雄一さん(48)1番員に玉山敦さん(49)2番員に藤原誠さん(40)3番員に柳原紘樹さん(39)4番員に熊谷信人さん(38)の5名が約50m先にある火点を1本目のホースで倒すまで55秒、さらに2本目のホースで火点を倒すまで65秒を目標として週3回練習を行っている。

また、第2部は指揮者に畠山智明さん(45)1番員に菅原涉さん(31)2番員に辻村智さん(36)3番員に菅原亮さん(25)の4名で火点を倒すまで45秒を目標とした操作を1部同じく、週3回練習を行っている。審査基準にはタイム以外にも、士気・規律・確実な動作・チームワーク等が加わるため、全員が揃っての練習が必要なのだが、6月3日に行われた花巻市消防演習での中隊訓練練習や花巻北消防署によるポンプ操法の指導も加わり過密スケジュール。この約2ヶ月間は仕事の調整や家族サービスもカットして励んでいる。練習日には、13分団の役員や先輩も加わりアドバイスから準備・片付けまでを応援するなど、技術習得だけでなく消防団の結束力の強さを感じた。

大瀬川中央長寿会が恒例の花見の会

大瀬川中央長寿会(菅原靖夫会長)では5月7日に毎年開催している花見の会を大瀬川振興センターで33名が出席して行なわれた。会長の挨拶のなかで「全市の傾向ではあるが年々老人クラブが減少しているなかで、八幡の北向では解散したクラブを70才前後の若い人達が53名の会員を集め、3カ月で再発足した例があり、このような事例は非常に珍しい」と話された。

今年加入した菅原正勝さんは挨拶で「仕事を辞めて家にいる様になり、会員から何度も勧誘を受けていたので一大決心で入会した。」と話された。今後の活躍に期待すると総務から声がかかる勢と勢大な拍手が起きた。当日は、好天であれば屋外で花見の会をしたかったが小雨になりそうと諦めた。

会員54名中33名の出席は過去最多の人数で非常に賑やかな花見の会であった。どこの団体でも役員のみならず手て苦労しているがこの様な事例は参考になる。

猪が車にはねられる

6月1日号の「みつくら」に写真を掲載したが、5月13日午前8時頃、高井沢組堤付近の市道大瀬川線で猪(亜種・ニホンイノシシ)が車にはねられて死んでいるのを菅原孝作さんを見つけ、辻村睦7区行政長に届け出た。辻村区長は直ちに石鳥谷総合支所に連絡し、運んでもらった。

この猪は、当時の映像から平成29年に雫石町で捕獲された、体長1m20cm、体重130kgの雌の成獣(牙の形)とほぼ同じ大きさと思われる。

県内の猪の記録は、森嘉兵衛が江戸末期(平成27年4月3日岩手日報も江戸末期)、県猪対策会議資料では明治10年代と見識が分かっているが、何れにしても絶滅したとされていた。それが、平成19年に奥州市で県内初の目撃情報があり、平成23年には一関市で県内初の捕獲があった。その後、捕獲や目撃等の情報が相次ぎ、花巻市初の目撃は平成26年(県猪対策資料)であった。大瀬川では平成28年7月28日に菅原富久夫(7区川原家)さんが尾平の舗装道路で猪の成獣を目撃、同日には久保家の東側で母猪1頭と子猪4頭が現れ、翌日7月29日の朝に助作家の所有する水田が4ヶ所中2m、長さ30mに亘って荒らされている。

花巻市で監視カメラ以外で撮影された猪の写真は先号に載ったのが最初ではないかと思われる。

板垣さんが葛丸湖畔で「星空」を撮影

板垣弘清さんは、5月11日の夜、葛丸湖畔の賢治歌碑で星空を写真撮影した。その写真を拝見したら、黒一色の空に、北極星を中心に数多くの星の軌跡が1cmほどの光の線になって円を描いておりとても美しかった。

宮澤賢治の「星めぐりの歌」は、『双子の星』や『銀河鉄道の夜』にも登場するが、その「あかいいだまのさそり」とはさそり座の心臓アンタレス、「あをいめだまの小いぬ」とはおおいぬ座のシリウスであり、「へびのとごろ」とは逆S字が特徴のりゅう座のことだという。また「小熊のひたいのうへは そらのめぐりのめあて」とは北極星のことを指していて、北極星は本来こぐま座の尾の先の星であるとされる。

写真は、明かりのない場所で30分間シャッターを開けて撮影したもの。この撮影の最中に車が通過し、そのヘッドライトが空に反映したので、板垣さんは2回撮り直しをしたという。満天の夜空に星が輝く撮影チャンスがいつ訪れるかわからないのに好機を逃さないその行動力に感心させられた。

表彰 (敬称略)

南部杜氏自醸清酒鑑評会入賞
 吟醸の部 優等賞 菅原銀一 菅原榮一 菅原富男
 純米吟醸の部 優等賞 菅原銀一 菅原榮一

県警本部長・県交通安全協会会長連盟表彰 小倉 衛

みつくら

平成30年 6月15日 第268号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

9区で環境整備

9区自治公民館では、5月27日に葛丸川河川敷片側を大瀬川橋から松林寺橋まで1500mの草刈りを行った。当日は、女性陣は公民館近辺に370本の花植えを担当、男性陣は班ごとに分かれての草刈りとなった。総務の指示で各場所から始めたところ、怪我もなく昨年よりも15分ほど早く終了となった。年2回のこの事業には、岩手県南振興局から約16万円ほどを活動費として頂き、9区自治公民館の収入源となっている。

山火事防止を呼びかけ

大瀬川片寄地区山火事予防協議会では4月25日から5月5日まで山火事防止活動を行った。この呼びかけ活動は、高井沢土場（市道葛丸線と市道高井沢線交差点付近）と堤田竈家北側の水上山道入り口でチラシを配るなど、入山者一人ひとりに声をかけている。5月4日の高井沢土場脇では、強い雨の中を二人の若者がトレーラーにバイクとバギー車を積んで上がる車もいた。他にも、盛岡や秋田ナンバーの車もありチラシを配りながら、火の元注意を呼びかけた。この協議会は、平成9年の大瀬川山林大火を受けて組織した防火予防団体で、構成団体は大瀬川分収造林組合、畑分収造林組合、大瀬川活性化会議、花巻市森林組合、花巻市消防団、花巻市消防団第13分団、花巻市消防本部、花巻市農林部農村林務課、市石鳥谷総合支所地域振興課、花巻北消防署、花巻市消防本部総務課、紫波町南片寄特用林産組合、紫波町漆立林道愛護組合、紫波町大明神林道愛護組合、産直「あぐり志和」、紫波町森和会、紫波町消防団、紫波町消防団第5分団、紫波町消防団第6分団、紫波消防署、紫波町企画総務部、紫波町産業部農林課、紫波町企画総務部総務課で組織している。

人 事 (敬称略)

岩手県農業共済組合総代 熊谷和紀

大正時代の小学校写真を再現

昭和8年に大瀬川小学校が焼失したが、その学校は菅昭塗装所の東側にあった。焼失した学校は、大正3年に移転を決め、それまで現在の板垣弘清さん宅付近にあった学校を、たばこ屋の西側に2階建て3教室を大正4年10月18日に落成式、翌年の大正5年夏から生徒、教員達が全面的に移転し授業を行っている。余談になるが、平成23年に第11回大瀬川歴史探訪講座で九口家生まれの高橋清子先生を講師に「大瀬川小学校」を取り上げた。その資料づくりで見つけた事は、新築した場所がどの記録にも「大瀬川10地割125番地」となっていることだった。原因は大瀬川小学校創立100周年記念誌に「大瀬川10の125」と誤記したからで、それを基に書いた昭和55年発行の大瀬川小学校閉校記念誌、昭和56年発行の石鳥谷町史、さらには菊池邦雄氏が書いた石鳥谷町教育史にも誤記が続いていた。誤記を見つけたきっかけは、区長文書櫃に保管してある明治末期の大瀬川区割り図面からであった。それには第11地割125番地大瀬川尋常小学校敷地であった。前置きが長くなったが、その頃の大瀬川小学校写真を、このほど、現在のコンピューター技術を使ってくっきり再生した。再生したのは板垣寛さんで、日語の写真店に依頼して実現したもの。写真の解説は古里昭夫さんに依頼し、解った事は、校門は大瀬川尋常小学校と書いた看板がある事。板垣春治消防組員（大地渡竈家）や板垣徳政（野中竈家）消防組員が写っており絆纏には「好地村消防組」とあり、校門には日章旗が交差して掲げられている。またこの写真は消防演習の写真で越田堰から碗用ポンプで汲み上げている事などから大正7年頃の写真とみられている。

嬉しい報告のあったさなぶり会

汗ばむ日があったり、逆に暖が欲しい日があったりの田植え時期も終えた5月27日の午後3時から9区自治公民館主催の「さなぶり」が46名の参加で開催された。高橋昭一館長より「今回は嬉しい報告があります。3班にまた、新しく世帯が増えました。」と挨拶があり、福島さん家族の紹介があった。熊谷 惇新区長の祝辞の後、菅原敬夫大瀬川第一老人クラブ会長の音頭で乾杯となった。役員のお様方手作り料理に舌鼓を打ちながらしばし農繁期の疲れを癒やして懇親を深めた。なお、3班には一昨年にも菅原雅幸さんの世帯が増えている。

盛岡合同写真展に板垣さんが3点出展

第41回二科会東北地区公募展、第65回二科写真部展、第38回岩手県写真連盟公募展の合同企画展が6月1日から3日間盛岡市民文化ホールで開かれ、何れも板垣弘清さんがそれぞれ入選した作品3点が展示された。「いぶりがこ」は干し大根を吊してる動作をぼやかに映した作品で、「黎明」は、スキの揺れる穂の下に朝日輝く雲海を撮ったもの。

「納め水」は腰帯姿の男衆30人が水を掛け合う写真であった。鑑賞する知識も無かったが、受付の方から解説していただいた。

9区子供会が資源回収

5月21日9区子供会（畠山拓地区長）では、紙類・段ボール・空き瓶の資源回収を年1回この時期に行い、子供達に資源の大切さを教えている。畠山地区長からは「子供会の活動資金として大変助かっている。特に、瓶類が高値回収になっており、1年間ためておいて出して頂き感謝している。」とあった。この日は、同時に公民館担当の空き缶回収（年2回）も行われた。

たかいさわ会がさなぶり会

高井沢納税貯蓄組合は平成29年6月10日に解散したが、同日にその組合員が7区1班の親睦組織として発足したのが「たかいさわ会」で会員は16名である。そのたかいさわ会は、6月2日に7区自治公民館でさなぶり会を行った。たかいさわ会は行政班長が代表を務める事になっている。

下大瀬川美土里の会 1回目の草刈り

下大瀬川美土里の会（藤原米光会長）では、年4回の草刈りを会員で行っている。そのうちの第1・4回は幹線道路を重点として9区会員が午前中の4時間を担当、今年の第1回目は6月2日に実施となった。当日はそれぞれ班ごとに分かれ、幹線道路の草刈りを行った後には南北の枝線までも刈り取り、地区民総出の力でとても綺麗になった。特に、交差点付近の草が刈り取られ見通しが良くなり、交通事故防止からも嬉しい限りである。

訃 報

大工戸の菅原七重さんは、5月6日に93歳で亡くなりました。菅原さんは野子家のお生まれで、菅原サキさんは「ご主人の菅原康さんは役職が多く、七重さんは朝から晩遅くまで農業で働かれた方でした」と悔やんでいました。菅原さんで思い出すのは、「どどり」がとても上手で、その声は部屋の隅まで届きました。菅原さんが、菅原キエ（久保家）さんから教えられたこのどどりも、菅原キワ子さんや辻村イヨさんへと伝えられています。大瀬川生活合理化推進協議会委員や、石鳥谷町保健補導員などを担われました菅原さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

お詫び

先月の5月15日号「宮澤賢治野宿100周年を記念・・・」の板垣会長挨拶の中で「藤原助蔵さんと奥さんのレン子さん」は、「藤原助次郎さん、藤原末蔵さんの娘のレン子さん」の間違いでした。